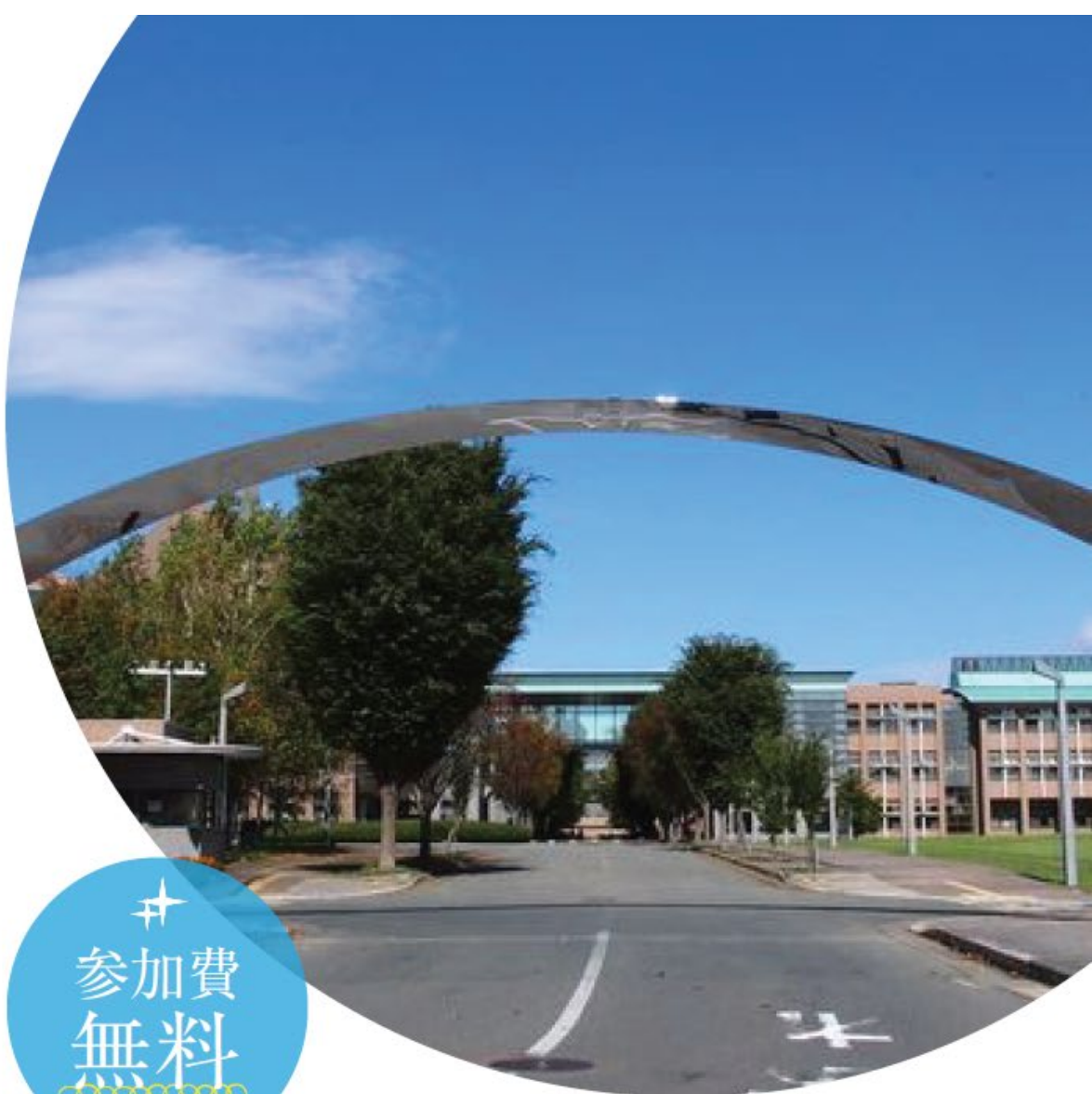


公開シンポジウム

日本社会福祉学会東北部会第19回研究大会



★
参加費
無料

日付 2019年 7 月27日 土

時間 受付／12:30 開演／13:20

場所 岩手県立大学滝沢キャンパス 共通講義棟301講義室
〒020-0693 岩手県滝沢市菓子152-52

■基調講演 13:20～14:20

「見守りと生活支援～高齢者の孤立防止とコミュニティ形成～」

岩手県立大学社会福祉学部 小川 晃子 氏

■シンポジウム 14:30～16:00

「見守りと生活支援における連携」

- | | | |
|-----------|---------------------|----------|
| ●パネリスト | こんの脳神経内科・脳神経外科クリニック | 紺野 敏昭 氏 |
| | ヤマト・スタッフ・サブライ (株) | 松本 まゆみ 氏 |
| | 岩手県社会福祉協議会 | 右京 昌久 氏 |
| ●コーディネーター | 駒澤大学文学部 | 川上 富雄 氏 |
| ●コメンテーター | 岩手県立大学社会福祉学部 | 小川 晃子 氏 |

主催／日本社会福祉学会東北部会

後援／岩手県・岩手西北医師会・岩手県社会福祉協議会・岩手県社会福祉士会・岩手県民生委員児童委員協議会
盛岡地区介護支援専門員協議会・盛岡市民生委員児童委員協議会・滝沢市社会福祉協議会
滝沢市老人クラブ連合会・滝沢市民生委員児童委員協議会

お問い合わせ／日本社会福祉学会東北部会第19回研究大会実行委員会 jssw.tohoku@gmail.com

地域を基盤とした高齢者の 生活支援とコミュニティづくり

全国的に、また東北地方においてはより顕著に高齢化と人口減少が進展するなかで、高齢者等が住み慣れた地域でいかに生活を継続していくか、その条件を明らかにすること、及びその条件を整備していくことが共通かつ喫緊の課題となっています。特に「見守り」や「移動」の問題は、どの地域でも課題として挙げられることが多い。さらに孤立しやすい高齢者の見守りについては、行政、社協、民生委員、町会自治会等において、地域福祉における重要な課題となっています。

これらの課題解決に向けた取組は、単に支援プログラムやサービス、ツールの開発にとどまらず、課題解決プロセスへの住民の参画と、それを通じた地域コミュニティづくりにつながるものでなくてはなりません。また、そのためには医療、保健、福祉、まちづくり等の分野縦横断的な連携に加え、行政、企業、大学といった多様な主体による協働が求められています。本シンポジウムでは、実際に地域の中で取り組んでいる見守り・生活支援に関わる方々をお招きし、実践を通して、高齢者の生活支援について共に考えていく機会にしたいと考えています。

岩手県立大学へのアクセス

- ◆鉄道利用：盛岡駅からIGRいわて銀河鉄道滝沢駅（約15分）、滝沢駅から徒歩約15分
- ◆バス利用：盛岡駅東口2番乗場から「県立大学行」バス（岩手県北バスまたは岩手県交通、約40分）
「岩手県立大学」下車
※バス停「岩手県立大学入口」で降りると大学構内まで徒歩で5分かかりますのでご注意ください。
- ◆会場：共通講義棟 3階 301講義室

